

福祉サービス第三者評価 評価結果

くっくおさんぽ保育園大倉山

横浜市港北区太尾町 1123-3

運営主体：社会福祉法人 くっくあゆみの会

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4～5 ページ
分類別評価結果	6～16 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	17～23 ページ
利用者本人調査分析	24～25 ページ
事業者意見	26 ページ

2007年5月21日作成

評価機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	くっくおさんぽ保育園大倉山	
報告書作成日	2007年5月21日	評価に要した期間 約5ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	

評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間:06年12月中旬～07年1月31日</p>	<p>全体職員会議で趣旨等を説明した後、常勤・パート全ての職員それぞれが自己評価票を持ち帰り、記入した。</p> <p>委員会を立ち上げ、リーダーを決めた。担当を割り振って1項目ずつ確認した後、リーダーに戻し、委員会で協議し、合意してまとめた。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:06年12月28日～07年1月22日</p>	<p>全園児の保護者(50家族)に対して事業者側から手渡し。</p> <p>各保護者より、同封の返送用封筒にて、評価機関宛に無記名で返送。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 07年3月14日 第2日 07年3月16日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前:各クラスにて観察調査 昼食:各クラスにて観察調査(園児と一緒に給食をいただく) 午後:書類調査。その後、園長・主任と事業者面接調査。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前:各クラスにて観察調査 昼食:各クラスにて観察調査(園児と一緒に給食をいただく) 午後:看護師、各クラス担任保育士5名、非常勤保育士1名と面接調査。その後、園長・主任と事業者面接調査及び意見交換。最後に栄養士と面接調査を行い、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 07年3月14日 第2日 07年3月16日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施。園外への散歩にも同行した。</p> <p>聞き取り調査は、主に年長児を対象として、上記観察調査時及び昼食同席時に、適宜実施した。</p>

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

くっくおさんぽ保育園大倉山は、東急東横線「大倉山駅」から徒歩約8分、車の多い商店街の通りを抜け、他の保育園や子育て支援拠点「どろっぷ」、幼稚園等を通り過ぎた先にあります。園は、建築資材業を営んでいる大家さんの敷地内にあり、周辺は住宅街でその先はマンション群です。

園舎は3階建てで、大方の保育室が南面しており明るい日差しが入っています。園庭はほとんどありませんが、「どろんこ広場」が園舎に隣接してあるので土遊びはできます。定員は60名（0～5歳児）、平日の開園時間は、7時から20時です。

当園の歴史は、1976年（昭和51年）保護者と職員の協力により、「くっく子どもの家共同保育所」が現在の地に開設されたのが始まりです。無認可保育所として長年運営され、1997年には横浜保育室となりました。その後2001年、運営母体の「くっくあゆみの会」が社会福祉法人となり、日吉に認可保育所「くっくおさんぽ保育園」を開設しました。当園は2005年に、この「くっくおさんぽ保育園」の分園として認可保育所となり、2006年（平成18年）より独立した保育園「くっくおさんぽ保育園大倉山」となっています。

保育理念（法人理念）は、「一人ひとりが尊重され、その人らしく輝き生きていくことができる社会を創造することに貢献したい」「常に現場の状況を第一とし、スタッフ一人ひとりが子どもの人権を守り自立への援助を図ることを共有し理解し合える運営をしていくことを理念とする」の2つを掲げています。

高く評価できる点

1、子どもたちは、戸外遊びを中心にした園生活を楽しんでいます。

「どろんこおひさまと仲良くしよう」をスローガンに掲げ、子どもたちはほとんど毎日園外保育を楽しみ、遊びを通じた健康な身体作りを行っています。

園庭が狭いので、子どもたちは毎日どこかの公園へ出かけ、鬼ごっこやしっぽ取りゲーム、ドッジボール、かけっこ等を楽しんでいます。公園での子どもたちは、自由に好きなことをして遊び、強制されることはありません。保育士の支援の下に、年少の子どもたちは段差の上り下りや鉄棒にぶら下がる等を通して、体力作りを知らず知らずの内にしています。また、途中で猫・犬・亀等の動物に出会うことは、子どもたちの楽しみです。公園の池でおたまじゃくしの観察をしたり、夏季にはザリガニを取り、保育園に持ち帰って飼育観察を行ったりしました。

子どもたちは、大いに自然に親しみ、元気一杯好きな遊びを楽しむ中で、友だちとの関係を育んでいます。

2、園と保護者は、共に育ち合った長い歴史を背景に良好な関係があります。

園は、保護者と職員が協力して「くっくこどもの家共同保育所」を現在の地に開設してから31年、長い無認可の時代を保護者と共に歩んできました。毎年開催されるバザーは、卒園生とその保護者、現在の保護者や在園児が楽しみにする交流の場となっています。このバザーは父母会主催で、職員も協力しています。また、父母会は、独自に「おひさま通信」というお便りを発行し、保護者間の交流及び園と保護者との相互理解を深める等、保育園を側面から支援しています。

また、園は保護者に対して、各種のアンケートを実施しています。朝食に関するアンケート、親子給食アンケート、保育参観アンケート、そして年度末には行事や保育等についてのアンケートを取る等、保護者の意向を聞いて職員会議で検討し、次の行事や次年度の保育へ生かしています。

園だよりには「バースデイインタビュー」「こどものつぶやき」「おとなのつぶやき」「Q and A」等のコーナーがあります。子どもの声や様子だけではなく、保護者の声等も紹介し、保護者と共にある保育園という様子が見受けられます。

3、職員集団は連携もよく、落ち着いた保育を提供しています。

職員集団は、話しやすく相談しやすいという職場環境の中で、豊かな保育を提供しようとする気持ちが見られ、それは積極的な研修への取り組みとしても現れています。

保育士は、子どもたちの目線で温かく見守る保育を心がけており、どの子どもも自由に毎日の遊びを楽しんでいます。また、いつも目の端で子どもの様子を追い、安全に配慮しながら子どもの自由な遊びを保障しています。そのような様子に、保護者は満足しており、特に園外活動については全員が満足という利用者家族アンケートの結果にも表れています。

園の看護師や栄養士も、それぞれの職責を果たしています。例えば看護師はケガや感染症等について適切な対応をしていますので、保護者も日々の保育に安心している様子が見られます。また、栄養士は本園の栄養士とも連携をとり、子どもと一緒に食事をする中で子どもの喫食状況を把握し、美味しい給食を提供しようと心がけています。

このように、職員同士が連携よくまとまって保育に携わっているので、子どもたちは安心して落ち着いた園生活を過ごしています。

独自に取り組んでいる点

1、ビデオを使用した研修を通して、職員間で保育の振り返りを行っています。

保育の様子をビデオカメラで撮影し、職員研修で活用しています。保育の様子や子どもの反応等を皆で見て、保育士の子どもへの話し方や言葉使い、接し方等について意見を述べ合います。そして、より豊かな保育の実践へと反映させています。

2、毎月、不審者対応訓練を実施しています。

避難訓練、消防訓練、防災訓練に加え不審者対応訓練を行っています。不審者対応訓練は、毎回内容を変えて実施していますが、生活安全保安協会に依頼し、防犯について子どもたちや職員に話をしてもらい、ロールプレイを行うこともあります。園児にも職員にも貴重な体験となります。

3、保護者が気軽に立ち寄れる場所として「くっく cafe.com」を開催しています。

園では、月1回「くっく cafe.com」を開催しています。お迎えの時間に合わせて、軽食を提供し、仕事帰りの保護者が気軽に集い、日頃思っていることや悩みなどを気軽におしゃべりしたり、相談したりすることができるような場を心がけています。

改善や工夫が望まれる点

外部機関との連携を通して、地域子育て支援機能の充実を

園は、長年、無認可保育園として地域の中で着実に運営されてきました。職員と保護者の熱い思いで作られた保育園であり、保護者との関係は充実したものがあります。しかし、一方で地域の子育て中の人々に向けての支援は十分とはいえません。地域にある子育て支援拠点「どろっぴ」や他の保育園との交流・連携、地域の町内会等との交流等を通して、地域の子育ての現状を把握し、園はどのような支援ができるのか検討することが望まれます。さらに外部の機関や専門家等の意見を取り入れながら、地域の中の保育園としての役割を、これまで以上に果たしていくように期待します。

1、人権の尊重

- ◇ 基本理念として「一人ひとりが尊重され、その人らしく輝き生きていくことができる」「スタッフ一人ひとりが子どもの人権を守り、自立への援助を図る」等を掲げています。その理念に基づき、子どもたちは一人ひとりが大切にされ、見守られながら園生活を送っています。
- ◇ 虐待の定義を全職員に周知しており、虐待が明白になった場合や疑わしい場合には、関係機関との連携がとれるようになっています。
- ◇ 個人情報保護に関する規定を策定し、また職員は守秘義務の意義や目的について理解しています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 保育方針は、「どろんことおひさまと仲良くしよう」をスローガンとして掲げ、子どもたちはほとんど毎日園外活動を楽しみ、遊びを通じた健康な身体作りを行っています。
- ◇ 日々の保育では子どもの発想を大切にし、保育士はその思いを汲み取るような保育を心がけています。いつも子どもの様子に目を配り、口添えしたり手伝ったりして見守りながら、子ども一人ひとりを支援しています。
- ◇ 食事は、季節感があり、変化のある工夫されたメニューです。子どもたちはほとんど残すことはなく、ゆったりとした雰囲気の中で、食事を楽しんでいます。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 安全に留意しながら、年齢別に発達段階にあったカリキュラムを作成しています。
- ◇ 園長・主任を中心とした職員集団の連携はよく、整備されたマニュアル（健康管理・感染症対策・衛生管理・安全管理・虐待防止）を活用して、子どもを中心に据えた保育を実践しています。
- ◇ 毎月の全体会議、クラス会議、毎朝のミーティング、本園との合同会議等を通して、全職員が積極的に運営に携わっています。
- ◇ 障がいのある子どもを受け入れており、職員は障がいについて研修で学ぶと共に、どの子にも同じような姿勢で援助することを心がけています。
- ◇ 苦情対応マニュアルがあり、苦情受付・苦情解決責任者を定め、「要望・提案箱」を設置しています。
- ◇ 第三者委員を2名選任し、年度始めに保護者へ周知しています。
- ◇ 全園児が連絡帳を持ち、毎月の園だよりも充実し、保護者と園は連携を密に取りあっています。さらに送迎時の保護者との交流、年3回の保護者懇談会、年1回（2日間を設定）の保育参観、年1回の三者面談（保護者・園長・担任）、年1回の個別面談を行い、毎日の保育に反映させています。
- ◇ 保護者に向けては懇談会アンケート、行事アンケート等の意向調査を実施し、園運営に活かす仕組みがあります。

4、地域との交流・連携

- ◇ 散歩の途中で出会った人と、挨拶を交わす等の交流をしています。
- ◇ プランターによる野菜栽培では、地域のボランティアの協力を受け、食育の一環として保育に活かすことができました。
- ◇ 園のパンフレット等により、サービス内容について分かりやすく情報提供を行っています。
- ◇ 外部からの問い合わせは、常時受け付けています。見学の希望も、保育に差し支えない範囲で受け付けています。
- ◇ 園庭開放も実施していますが、あまり多くの親子の参加はありません。地域の子育て支援拠点や他園との交流連携、地域町内会との連携も、今後さらに検討することが望まれます。

5、運営上の透明性の確保と継続性

◇ 守るべき規範・倫理については「全国保育士倫理綱領」をもとにしており、職員に周知しています。

6、職員の資質向上の促進

◇ 職員は、正職員・パート等に関わらず積極的にさまざまな研修を受け、自己研鑽に励んでいます。

◇ 職員は、個々の資質向上に向けて、毎年目標の設定と達成度の評価を行っています。園長との面談等を通して振り返りを行いながら、次へのステップへ繋がるように努めています。

当評価機関では、「障害」を「障がい」と表記します。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。




「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育理念」には、「一人ひとりが尊重され、その人らしく」とあり、子どもを尊重したものになっています。 ・「保育理念」「保育姿勢」「保育方針」「保育目標」を明文化しており、園内各所への掲示や会議等を通じて、職員に周知しています。また職員は、年度末に提出している個人の総括の中で、保育内容が理念・方針や保育目標に沿っているか、振り返りも行っています。 ・「保育計画」は、基本方針をもとに、昨年度の反省も踏まえて職員全員が関わって作成しています。その内容は、保護者の就業状況や家庭環境、子どもの特性等を考慮しており、園の行事やクラスのおたよりによって保育方針の「ねらい」を伝えています。 ・「指導計画」は、クラスごとに年間指導計画、月案、週案とあり、保育計画のねらいに沿ってクラス担任・副担任が作成しています。その際、日常の子どもたちの意見や意思は、担任が子どもとの関わりから常に把握し、汲み取るように心がけています。 ・日常の保育内容は、指導計画（週案）を反映しています。日々の主要な活動を「絵カード」にし、壁に掲示しています。その日の活動を、障がい児も含めて子どもたち全員に、わかりやすく伝える工夫です。 ・保育士は、必要なことは子どもに丁寧に説明しており、子どもたちが担任を信頼している様子が見られます。朝の自由遊びや制作活動の内容は、子ども同士の話し合いや自由な玩具の選択など、子どもの自主性及び主体性を重んじており、保育目標にそった保育の実践がうかがえます。

- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- ・入園前の家庭状況や、子どもの生育暦・発達状況は、保護者面談や子どもの観察及び児童票・健康記録によって把握しています。観察の結果等は、職員会議等で全職員へ伝えられ、子どもの個々の特性を共有し、保育に活かしています。
- ・新入園児の受け入れの際、必要な場合にはならし保育を実施しています。子どもの状況に応じて柔軟に対応するとともに、愛着のある玩具やグッズの持ちこみができる等、子どもがクラスに慣れるように配慮しています。
- ・各クラスで複数担任制を採用しているため、個別の子どもを担当する保育士も配置しやすい体制になっています。
- ・0歳児から5歳児まで全員に連絡帳があり、園での様子や家庭からの連絡等を記入して、園と保護者間の認識の共有を図っています。
- ・保育士は、園長・主任も参加するクラス会議で、子ども一人ひとりの状況を把握した上で、指導計画の見直しを実施しています。
- ・保護者の意向は、クラス懇談会や連絡ノートからの情報、昨年実施の保護者アンケートの結果等により把握し、指導計画の見直しへ反映する仕組みがあります。

- 3 快適な施設環境の確保



- ・保育園内は、清掃が行き届き清潔感があります。各保育室内は、空調設備による温度・湿度管理を行っています。換気は適宜行い、照明も子どもたちにとって快適な保育空間をつくっています。
- ・沐浴設備およびシャワー設備は完備しており、清潔に保たれています。
- ・保育室は、午睡時と給食時のスペースを区分し、機能別に分けて使用する仕組みがあります。
- ・3歳児組と4・5歳児組は、部屋が隣同士のためいつでも交流ができ、異年齢児交流を図る保育を日常的に取り入れています。また両保育室は、可動式の壁で区切られていて、行事・活動などで必要な場合は、両クラスを一部屋にして使用することが可能です。

- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- ・0、1歳児だけでなく全員の個別指導計画があります。指導計画の見直しは、クラス会議で、園長・主任も参加し、子ども一人ひとりの状況を把握した上で実施しています。また、重要な課題は、個別に保護者へ説明し、同意を得た上で指導計画に反映し、見直しをしています。
- ・子どもや家庭の個別の状況や保護者の要望などは、児童票及び健康記録にて把握し、これらの情報は、施設内の書棚に保管しています。保育士は、子ども一人ひとりの個人ファイルの中に子どもの成長・発達の記録を管理しています。
- ・朝のミーティングでは、一日の活動プログラムを園日誌に記入し、各クラスの一日の様子が一目で分かるようにしています。また、各クラスの保育日誌により、職員交替時に申し送り事項や特記事項について引き継ぐ仕組みとなっています。

- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み




- ・特に配慮を要する子どもや障がいのある子どもを受け入れる姿勢があります。
- ・特に配慮を要する子どもや障がいのある子ども、さらに個々の家庭事情を配慮した課題などについては、保育士の他、看護師や栄養士なども含めてケース会議を開催しています。
- ・障がいのある子どもには、個別指導計画を作成し、専任保育士による保育を行っています。
- ・職員は、発達障がいに関する外部研修に参加しています。さらに、研修報告を作成し、情報を共有することで、保育の質の向上に努めています。
- ・アレルギー疾患のある子には、医師の指示書に基づいて対応することを基本としています。給食の献立については、担任、栄養士、看護師の他、保護者も含めた打ち合わせを行い、除去食中心の献立を個別に提供しています。また、食事に配慮が必要な子どもの記録簿があり、除去食・代替食は、配膳の際も間違わないように別皿に盛りつける等の工夫をしています。
- ・園は、特に配慮が必要な外国籍や帰国子女の子どもの入園があっても、文化の違いや生活習慣を尊重する姿勢があります。また、他の子どもたちにも、いろいろな文化があることを理解させる取り組みを行っています。

- 6 苦情解決体制



- ・「苦情対応マニュアル」を整備し、苦情・トラブルや要望は記録し、保管しています。
- ・外部の第三者委員を2名(主任児童委員)任命しており、年度始めに名前・連絡先を書いた書類を保護者へ渡しています。園での要望・苦情を受け付ける担当は園長です。
- ・保護者に対しては、保護者の意見・要望を受け付ける「要望・提案」箱を玄関に用意しています。また、行事の後などにアンケートを実施し、意見を汲み上げるよう努めています。
- ・苦情に関しては、過去の事例から初期対応の大切さを認識し、職員間で周知しています。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="161 344 472 383">- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="600 259 1474 421">・ おもちゃは、ブロック、ままごと、プラレール等をそれぞれケースに入れ、子どもが自由に取り出しやすく、しまいやすく、棚に置いています。年少児の場合は、おもちゃの棚に写真を貼り、しまう場所を示す等の工夫をしています。 <li data-bbox="600 443 1474 604">・ 公園では鬼ごっこやしっぽ取りゲーム、花摘み等、自由に楽しみ、室内では友だちとこま回しや、工作で作ったびゅんびゅんゴマで友達と競いあったり、紙飛行機飛ばしや、絵を書いたり等、自由に好きな遊びを楽しんでいます。 <li data-bbox="600 627 1474 828">・ 5歳児の保育室内と乳児組の廊下には図書の棚があり、子どもや保護者は、貸し出しノートに記入して自由に借り出しています。毎日2~5冊くらいが貸し出されています。保育士が読む絵本に静かに聞き入る子どもたちの様子も見られ、日常的に本に馴染んでいる様子が見えます。 <li data-bbox="600 851 1474 918">・ 保育士は、子どもの自由な発想を受けとめることを心がけ、さらに発展できるように支援の姿勢でいます。 <li data-bbox="600 940 1474 1102">・ 4、5歳児は、散歩先の池でザリガニを釣り、持ち帰って飼育・観察を行っています。別の池でもカエルの卵やおたまじゃくしを見たり触ったり等、保育士は自然に触れ合う機会をつくることを心がけています。 <li data-bbox="600 1124 1474 1191">・ 2、3、4、5歳児は、年齢ごとに月に2回専門家からリトミックを学び、自由に身体を動かすことを楽しんでいます。 <li data-bbox="600 1214 1474 1281">・ 子どもたちが、自由に絵を書いたり工作ができたりするように、空箱やラップの芯、牛乳パック、チラシなどを豊富に準備しています。 <li data-bbox="600 1303 1474 1415">・ 月1回、1~5歳児までが縦割りグループになり、散歩や食事を一緒にしています。日常的な異年齢児交流はもちろんのこと、意識して異年齢児交流を心がけています。 <li data-bbox="600 1438 1474 1550">・ 散歩にはできるだけ出かけるように心がけ、子どもの発達に応じて行き先を変えて出かけています。散歩に行った先の遊具や段差を使って体力作りをする等、健康作りにも配慮しています。 <li data-bbox="600 1572 1474 1639">・ 保育士は、子どもの様子にいつも目を配り、口添えしたり手伝ったりして見守りながら、子ども一人ひとりを支援しています。

- 1 保育内容[生活]





- ・ 乳児クラスの食事の際、保育士は、子どものそばに居てやさしく話しかけながら、食事を楽しく食べることができるように心がけています。
- ・ 4、5歳児の給食当番は、保育士がよそってくれたお椀や皿を、両手で大事に抱えてこぼさないように気をつけながら配っており、当番を通して役割を丁寧に果たすことを学んでいます。
- ・ 給食時には、各テーブルに5歳児が作った花瓶を置き、散歩で摘んできた花等を生ける等、楽しい雰囲気の中での食事を心がけています。
- ・ ひなまつりにはお寿司を、子どもの日には手作り柏餅を、七夕には流しそうめんを、クリスマスには選択メニューを取り入れる等、工夫しながら季節感のある献立に留意して、給食を提供しています。また、「お楽しみ給食」として、5歳児の卒園に向けた行事の一つ「さよならパーティー」では回転寿司(子どもたちがぐるぐると回ってお寿司を食べる)を取り入れ、子どもたちが全員で卒園に向けて楽しさを共有する機会を提供しました。
- ・ 献立は、毎月、本園との合同会議で討議し、旬の食材を取り入れた献立作りを心がけています。また、保護者へなるべく事前に献立表を渡しており、玄関横でサンプルも展示しています。
- ・ 子どもの成長によりテーブルの高さを変えたり、高さを工夫できるイスを使用したりしています。食器は乳児の場合、離乳食が食べやすいように、縁の高い食器を使用する等の配慮をしています。
- ・ 保育参観後には給食懇談会を行い、その際に給食の試食を提供しています。味や食感等について、保護者からは参考になると喜ばれています。
- ・ 5歳児は、11月頃から午睡を取り入れていません。静かに工作をしたり、絵を描いたり、本を読んだりと自由に静かに過ごしています。
- ・ トイレトレーニングは、無理強いせず、その子の発達や季節を考えて、家庭と相談しながら取り組んでいます。また、オムツはずしに向けて、トイレトレーニング中の子どもがはいている紙パンツの中に布オムツを1枚はさみ、子どもに濡れた感触を体感させ、おむつが濡れると速やかに保育士は交換しています。
- ・ おもらしやおねしょをした場合は、保育士は叱ったりすることなく、速やかに着替えさせ、子どもに不安感を持たせないように心がけています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・ 健康管理マニュアルがあり、一人ひとりの健康状態を把握しています。
- ・ 健康記録や経過記録、個人面談の記録、相談の記録等は、子ども一人ひとりの健康台帳として1冊ずつにまとめて保管しています。
- ・ 園での子どもの様子で気になるところがあれば、お迎え時に保護者に話したり、連絡帳に記入したりする等、連絡を密に取り合うようにしています。
- ・ 一人ひとりの健康診断・歯科健診の記録があり、それぞれの健康台帳に収められています。また、健康診断・歯科健診の結果は、連絡

	<p>帳にはさみ込み保護者へ速やかに報告しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯磨き指導は、歯が生え始めると歯ブラシに慣れさせることから始め、仕上げ磨きは担任が5歳児に至るまで行っています。 ・ 感染症に関するマニュアルがあり、保育中に発症した場合は、速やかに保護者へ連絡し、保護者が迎えに来るまで看護師が付き添っています。また、感染症が発生した場合は、速やかに掲示し、手紙でも知らせています。保健だよりも感染症について詳細に紹介し、保護者へ注意を促しています。 ・ 看護師が常駐しているので、保護者は安心して相談したり、預けたりすることができると思っています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生管理に関するマニュアルがあり、見直しも適宜行っています。 ・ マニュアルの内容は、看護師が全体会議で職員に説明し、周知しています。また、折々の感染症等についても看護師が具体的に説明しています。 ・ マニュアルに基づき、害虫駆除を定期的実施しています。また、各保育室やトイレの清掃も消毒薬を使用する等、清潔に留意しています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理のマニュアルがあります。マニュアルに基づいてチェック表を作成し、毎朝、担当者が園内外の安全点検を行っています。また、毎月1回園内外の点検を細かく実施しています。 ・ 電話機のそばの壁に、緊急連絡先と通報の仕方を掲示しています。 ・ 避難訓練、消防訓練、防災訓練を行い、内容の見直しも行っています。 ・ 消防署の救急救命法の講習は、全職員が受けています。 ・ 事故対応マニュアルがあり、保護者や医療機関、地域への連絡体制が確立しています。 ・ 小さなケガでも、できるだけ口頭で直接保護者へ説明し、連絡帳にも記入しています。また、ヒヤリハット報告書にも記入し、職員会議で報告・検討も行っています。病気やケガのときの電話対応マニュアルがあり、職員に周知しています。 ・ 不審者対応マニュアルがあり、不審者対応訓練を毎月、内容を変えて実施しています。また、生活安全保安協会に依頼して「防犯について」と題して園児たちに話をしてもらったり、ロールプレイ（職員用と子供用）を実施する等、工夫して学習を行っています。 ・ 防犯カメラを3台設置し、常時事務所で映しています。また、玄関には、カメラ付きインターホンを設置し、来訪者を確認してから開錠しています。

- 3 人権の尊重



- ・ 子どもの名前は、「ちゃん」「くん」付けで呼んでいます。職員は、まずは子どもの発言や気持ちを受けとめるように心がけて接しています。
- ・ 園内保育研修のために、保育中の子どもの様子等をビデオ撮影し、後日職員同士が意見を述べ合い、より良い保育の実践と、保育技術の向上を心がけています。
- ・ プライバシーを守れる場所として、事務室や相談室を提供しています。
- ・ 個人情報の保護に関する規程があり、守秘義務の意義や目的についても職員に周知しています。個人情報に関する書類は、施錠できる書庫に保管しています。
- ・ 虐待防止マニュアルがあり、関係機関の連絡先が収められています。虐待が明白になった場合や疑わしい場合は、関係機関と連携をとる体制があります。
- ・ 職員は、子どもの登園時に視診を丁寧に行い、着替えやオムツ替えの時にも全身の様子を見るように心がけています。
- ・ 子どもたちは、男性保育士とも女性保育士とも日常的に接しているので、性差により役割に違いがないことを知っています。



- 4 保護者との交流・連携






- ・ 保護者が保育の基本方針を理解できるように、クラス懇談会や園だより、連絡帳等により丁寧に説明しています。
- ・ 園の理念・方針・目標を明文化し、保護者や職員が日常的に目にすることができるように玄関、保育室等に掲示しています。
- ・ 連絡帳は0歳児から5歳児まで全員が持ち、保育士は毎日記入しています。また5歳児クラスの場合は、クラスだよりをほぼ毎日発行して、その日の子どもの様子を保護者へ伝えていきます。
- ・ 個別面談は年2回実施しており、特に秋には園長・担任・保護者の三者面談を実施するなど、保護者と連携をはかり、より良い子育てができるように努めています。
- ・ 保護者の相談に応じています。その際、相談室に「面談中」の札を下げて、プライバシーにも配慮しています。相談は、担任・主任・園長で対応し、必要に応じて専門機関等を紹介しています。相談は記録をとり、個人ファイルに入れて保管し、継続的に支援する仕組みがあります。
- ・ 年間行事予定を4月の園だよりに掲載し、保護者が園行事に参加しやすいように配慮しています。
- ・ 園だよりには、子どもの声や様子、保護者の声等を取り入れ、保護者同士の交流も図れるような作りになっています。
- ・ 保育参観は、年1回2日間を設定していますが、参加できない保護者へは、いつでも都合の良い日に参観できるように配慮しています。
- ・ 園の行事の「縁日」や「みこし」等で、保護者と子どもと一緒にものを作りあげるといった体験をしています。
- ・ 父母会は、独自に「おひさま通信」を発行し、保護者間で密に連携を図っています。父母会主催のバザーは、地域の人や保護者間のつながりの場ともなっており、職員も参加して協力する等、園と父母

会との連携も取れています。無認可保育園時代からの連携の深さが、今も続いています。




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園は、長い無認可保育園の歴史があり、地域からの理解と支援があります。そのような中で地主の協力を得て、道路に面した場所に園独自の掲示板を掲げ、「育児相談」のチラシやさまざまな情報を掲示しています。 ・ 園の職員は、近くにできた地域子育て支援拠点「どろっぷ」を訪問して見学し、地域の子育てに関するニーズを把握するように努めています。 ・ 園は交流保育、園庭開放を実施し、園の子どもたちと一緒に遊ばせながら育児相談等も受けています。 ・ 地域住民に向けての子育てや保育に関する講習・研修会の実施は、今後の課題としています。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児相談については、掲示板に掲示し、地域子育て支援拠点「どろっぷ」や区役所等にもチラシを置いて、地域に向けて発信しています。 ・ 育児相談は、随時受け付けており、園庭開放や施設見学で来園した保護者の相談にも応じています。 ・ 本園と合同のホームページに育児相談事例等を載せています。（現在は更新されていませんが、育児に関するQ and A等を見ることができます。） ・ 関係機関や団体との関わり方をマニュアルで示し、定期的に横浜市総合リハビリテーションセンターと情報交換をする等、連携の体制ができています。担当は園長です。




評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園は、地域の小学校との交流や地域子育て支援拠点との交流などを通し、保育園に対するニーズの把握に努めています。 ・父母会主催のバザーや有志によるフラダンスサークル、太鼓の練習などへの施設開放も行い、保育園への理解の促進につながっています。 ・子どもたちは、散歩の途中で出会った地域住民と気軽にあいさつをしたり、公園で出会った高齢者や、他園の子どもたちとも交流を深めたり等、地域の人たちとの関わりを大切に生活を送っています。 ・園は、地域の理解を得て地域の資源を活用しています（福祉センターホールや大倉山記念館ホールでのクリスマス会、園児の作品展開催、公園での「縁日」の開催等）。 ・園は、プロによる人形劇やコンサートを計画し、園児に本物を味わう機会を提供すると共に、一般の地域の人々の参加もできるように配慮しています。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園は、パンフレット等による情報提供に努めています。保育サービスの内容についても、利用者に分かりやすい記述で紹介しています。 ・地域の子育て情報誌等からの取材を受け、園の情報を提供しています。 ・行政機関や地域の子育て支援拠点にもパンフレットを配付し、将来の利用者へ提供できるようにしています。 ・地域子育て支援拠点からの問い合わせにも園の情報を提供し、連携をとっています。 ・利用に関する外部からの問い合わせは、全て園長を窓口として常時受け付けし、対応しています。見学の希望は、日常の保育に差し支えない範囲で随時受け入れ、同時に育児相談を受ける場合があります。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティア受け入れマニュアル」があります。受け入れ担当は主任です。 ・夏季の野菜栽培のボランティア活動では、「食育観察ノート」が作成され、野菜の育ちから成長、収穫までを記載しています。活動が子どもと共に実際に行われたことが分かるような記録になっており、食育の一環として保育運営に反映されていることが分かります。 ・「実習生受け入れマニュアル」があります。受け入れ担当は主任です。 ・「実習生受入の記録」及び「実習生向けのしおり」を作成し、実習前の訪問時にプログラム等を説明しています。実習の手順は、各クラスを一巡した後に、実習生の望むクラスに配置し、終了時には、主任及び担当保育士と反省会を行っています。実習の振り返りを行うと共に、学生の感想等を園運営の参考にしています。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員は、20歳代から50歳代までの広い年齢層で構成され、独身、子育て中など立場もさまざまです。子どもたちや保護者にとっても、職員個々の特性が必要な時に活かされる人材構成になっています。 ・ 個々の職員の資質向上に向けて、毎年目標の設定と達成度の評価が行われています。 ・ 合同研究集会やさまざまな研修への参加後、研修報告を作成し、職員全員が、その成果を題材に勉強会を開いて知識の習得を心がけています。研修報告は冊子にまとめて、保護者へも配布し、園だよりでも紹介しています。 ・ 非常勤（パート）職員も内部研修及び外部研修を受講できる仕組みとなっています。 ・ 正規職員・パート等を問わず、コミュニケーションを密にして協力し合う姿勢がうかがえます。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種会議等で、保育について随時見直しをしており、職員個々も自らの保育についての自己評価につなげています。 ・ 園内保育研修として、保育中の子どもや保育士の様子等をビデオで撮影し、後日職員同士がそれを見て意見を述べ合い、より良い保育の実践と、保育技術の向上へ努めています。 ・ 大学・研修所等の学識経験者による支援を依頼しており、保育の評価・指導を受ける体制があります。
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成計画として「 新任職員、 中堅職員、 主任職員、 管理職職員」の職域区分があり、役割分担を明記しています。 ・ 各クラス複数担任制をとり、主担任と副担任が連携して、日常の保育を、責任をもって行っています。 ・ 日常の保育や行事等について、職員からアンケート方式による意見収集を行い、改善提案などを汲み上げる仕組みがあります。 ・ 職員一人ひとりとの個別面接や日常の関わりの中で職員の満足度や要望などを吸い上げています。年度末には反省・要望等を、個々人が記入・確認し、園長は面談を通して把握しています。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育に関わる規範・倫理的については「全国保育士倫理綱領」をもとに職員全員に周知しています。また日常の保育の中で振り返ることができるように、職員会議などで読み合わせを実施しています。 ・ 日常の保育の中で発生する廃棄物は、分別できるように分別ボックスを設置している。 ・ 節電・省エネ・省水など、職員全員が意識して実行していることがうかがえます。例えば、段ボールを加工してコーナーの仕切りに利用したり、子どもに対して何気なく節水の指導をしたり、不要な紙を工作材料へ転用したりなどの取り組みを行っています。 ・ 保育計画に、環境に配慮するとのねらいを明文化しています。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ くっくおさんぽ保育園の「保育理念・法人理念」「保育姿勢」「保育方針」及び「保育目標」を玄関等に掲げ、保護者にも職員全員にも周知しています。日常的にミーティングや職員会議などでも話し合い、確認しあっています。 ・ 重要な意思決定に際しては、保護者へアンケートの実施や、職員会議等での説明を行っています。 ・ 人材育成計画の中に職域区分があり、これに則り主任クラスを計画的に育成しています。 ・ 主任は、保育リーダー研修を受講しています。 ・ 主任の、日々の保育の中での担任・副担任との連携、子どもたちとのコミュニケーションの取り方、保護者への対応等の様子より、スーパーバイザーとしての主任の役割を果たしていることがうかがえます。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業運営に影響のある外部情報は、他園との情報交換を通して、情報収集に努めています。 ・ 運営面での重要な改善課題については、職員に周知し、園全体として取り組んでいます。 ・ 本園との間で、それぞれの主任を、期間を限って入れ換えて、両園の違いや課題を認識してもらうなど、次代の組織運営へ向けて取り組んでいます。 ・ 本園も含めた中長期的なビジョンは、保育理念や法人理念には示されていますが、独立園2年目以降に向けて、さらなる取り組みに期待します。 ・ 運営に関して外部機関や専門家などの意見を取り入れる方策が望まれます。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2006年12月28日～2007年1月22日
- 2、実施方法 全園児の保護者に対して事業者側から直接配布
各保護者より、同封の返送用封筒にて、評価機関宛に無記名で返送
- 3、回収率 84.0%（50枚配付、42枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児...6人、1歳児...8人、2歳児...7人、3歳児...7人、4歳児...9人、5歳児...5人
無回答...0人 ただし同一家族で複数名が園に在籍の場合には、下の子どものクラスについて回答。

設問ごとの特徴

- 【問1】**保育目標や保育方針**は、「知っている」という回答が95.2%です。「知っている」という人の全員が、「賛同できる」と答えています。
- 【問2】**入園時の状況**の中で、「入園前の見学・説明」「子どもの様子や生育暦などを聞く対応」「園の目標や方針についての説明」「1日の過ごし方についての説明」については、ほとんど全員が満足と答えています。「見学の受け入れ」「入園時の面接」「費用やきまりに関する説明」についても、ほぼ満足しています。
- 【問3】**年間計画**は、保護者はほぼ満足しています。自由記入欄には、“一つひとつの行事が本気で楽しみ、子どもが達成感を持つことができる”“行事は多いけれども保護者同士の情報交換・交流ができる”といった声があります。
- 【問4】**日常の保育「遊び」**は、多くの保護者が満足しています。自由記入欄には“戸外遊びを取り入れ、自然や友だちとの触れ合い等も多く、のびのびと遊ばせてもらっている”という言葉がみられます。**日常の保育「生活」**は、給食について多くの保護者が満足しています。体調やケガ等の対応についても満足しています。自由記入欄には“バランスの取れた食事に満足している”“ケガについてはその都度きちんと説明がある”“体調の変化に細かく気遣ってくれる”等の声がありました。
- 【問5】**施設**については、“園庭が狭い”等の声があり、やや満足度が低いです。**安全対策**は、外部からの侵入については、自由記入欄に一部不満の声も見受けられますが、全体としてはほぼ満足しています。感染症対策についてもほぼ満足しています。
- 【問6】**園と保護者との連携・交流**では、「懇談会や個別面談等の話し合いの機会」や「園の行事の開催日や時間帯への配慮」「送迎時の子どもの様子についての説明」「子どもについての重要な情報の連絡体制」「保護者からの相談事への対応」について、保護者はほぼ満足しています。しかし、「園だより等による情報提供」はやや不満という声が見られます。自由記入欄に、“園だよりの発行をもう少し早くしてほしい”という声が見つかりました。
- 【問7】**職員の対応**は、「子どもが大切にされているか」や「子どもが園生活を楽しんでいるか」という項目では、多くの保護者が満足しています。自由記入欄に“担任以外の先生も見てくれている”“どの先生も温かく子どもに接してくれている”などの声があります。
「不満や要望を気軽に言えるか」と「不満や要望への対応」については、ほぼ満足していますが、中に“話しにくい”という声が見つかりました。
- 【問8】**総合満足度**は、「満足」「どちらかといえば満足」をあわせて95.3%と、高い満足度です。
- 【問9】**自由記入欄**には、“家の事情や子どもの状況によく対応してくれている”“よく面倒を見てもらっている”“大事に育ててもらっている”等の声が見つかります。また、無認可の頃を少し懐かしがる声もあります。

まとめ

- ・保護者は、園の保育目標や方針をよく理解し、安心して子どもを託している様子が、どの項目を見ても高い満足度となって表れています。
- ・保護者は、戸外での遊びを含めた健康作り、給食についても満足している様子がうかがえます。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

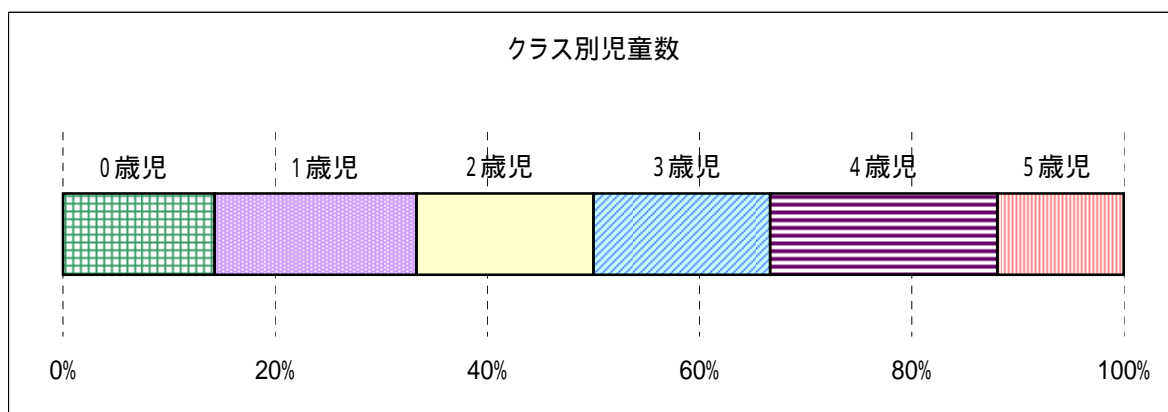
実施期間： 2006年 12月28日 ~ 2007年 1月22日

回収率： 84.0% （回収数 42枚 / 配付総数 50枚）

【属性】

クラス別児童数 同一家族で複数名が在籍の場合は、下の子どものクラスで記入

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	無回答	合計
6	8	7	7	9	5	0	42



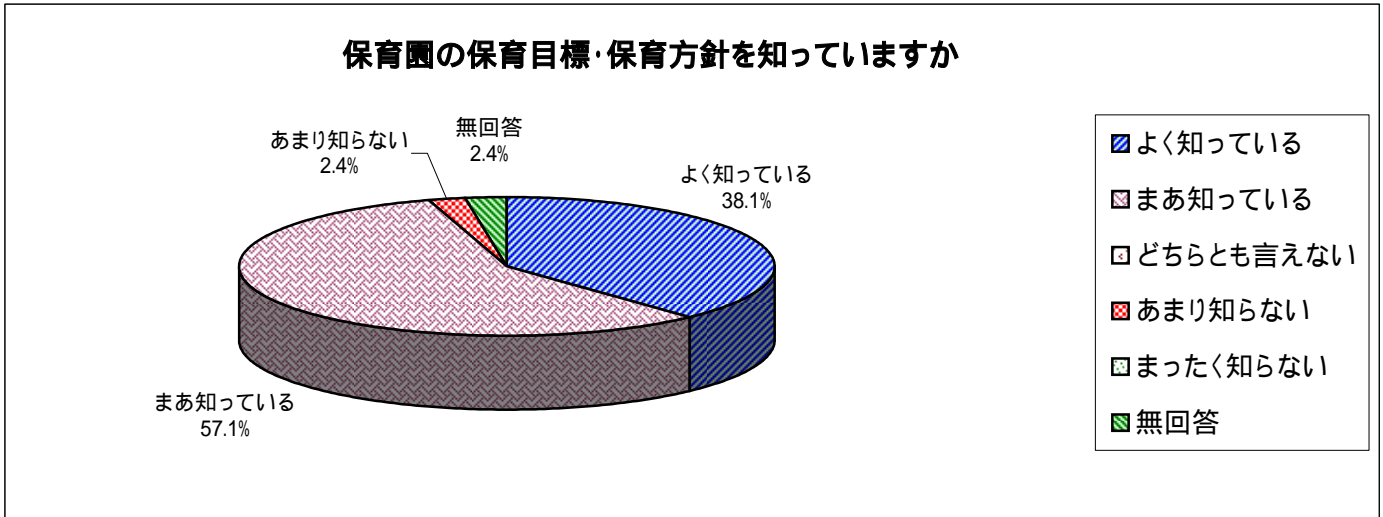
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	38.1	57.1	0.0	2.4	0.0	2.4	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

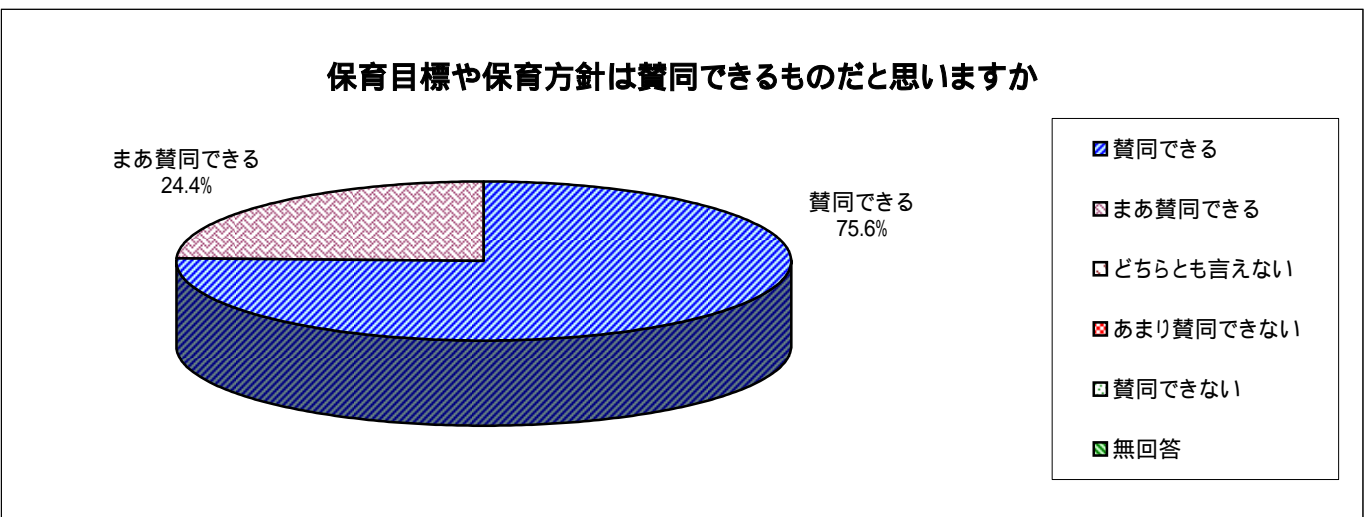


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

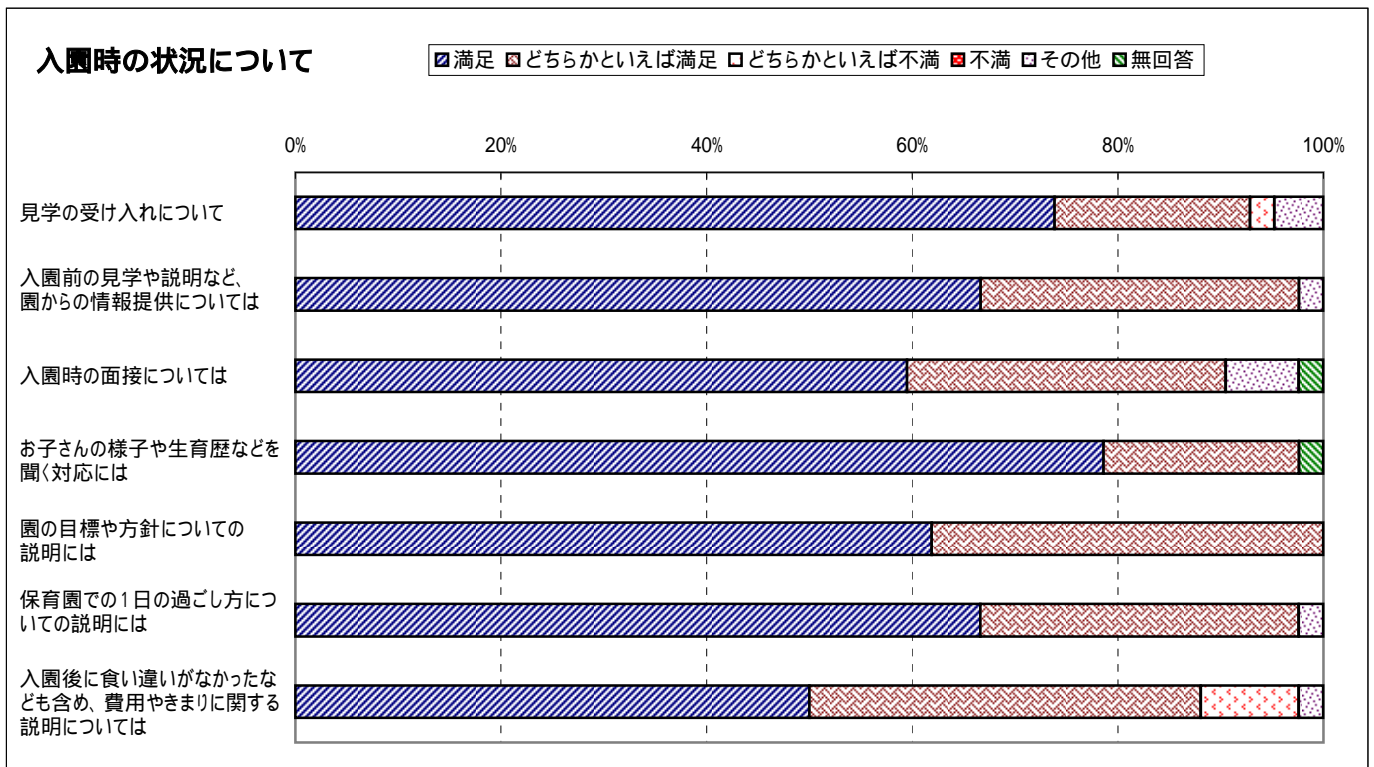
付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	75.6	24.4	0.0	0.0	0.0	0.0	100



保育園のサービス内容について 問2 入園時の状況について

(%)

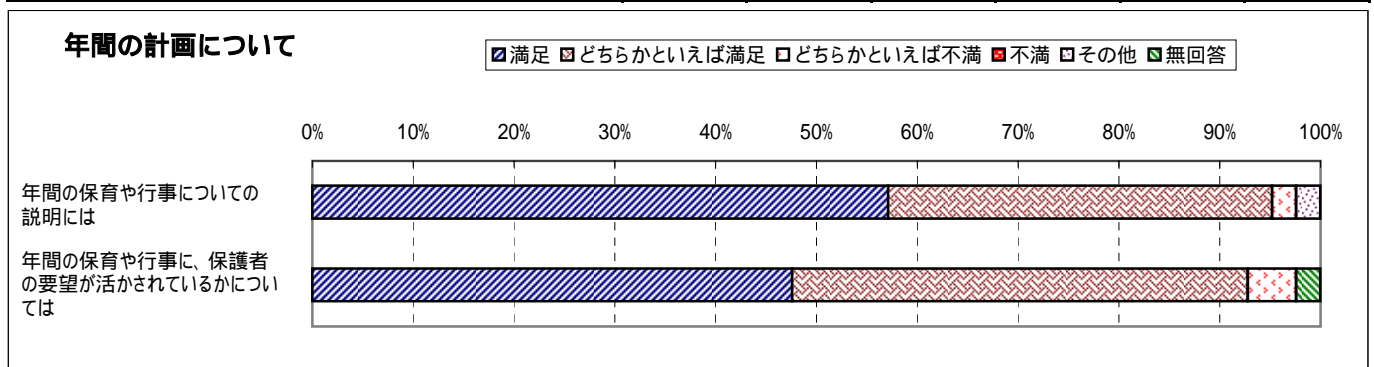
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	73.8	19.0	2.4	0.0	4.8	0.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	66.7	31.0	0.0	0.0	2.4	0.0	100
入園時の面接については	59.5	31.0	0.0	0.0	7.1	2.4	100
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	78.6	19.0	0.0	0.0	0.0	2.4	100
園の目標や方針についての説明には	61.9	38.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	66.7	31.0	0.0	0.0	2.4	0.0	100
入園後に食い違いがなかったなども含め、費用やきまりに関する説明については	50.0	38.1	9.5	0.0	2.4	0.0	100



問3 年間の計画について

(%)

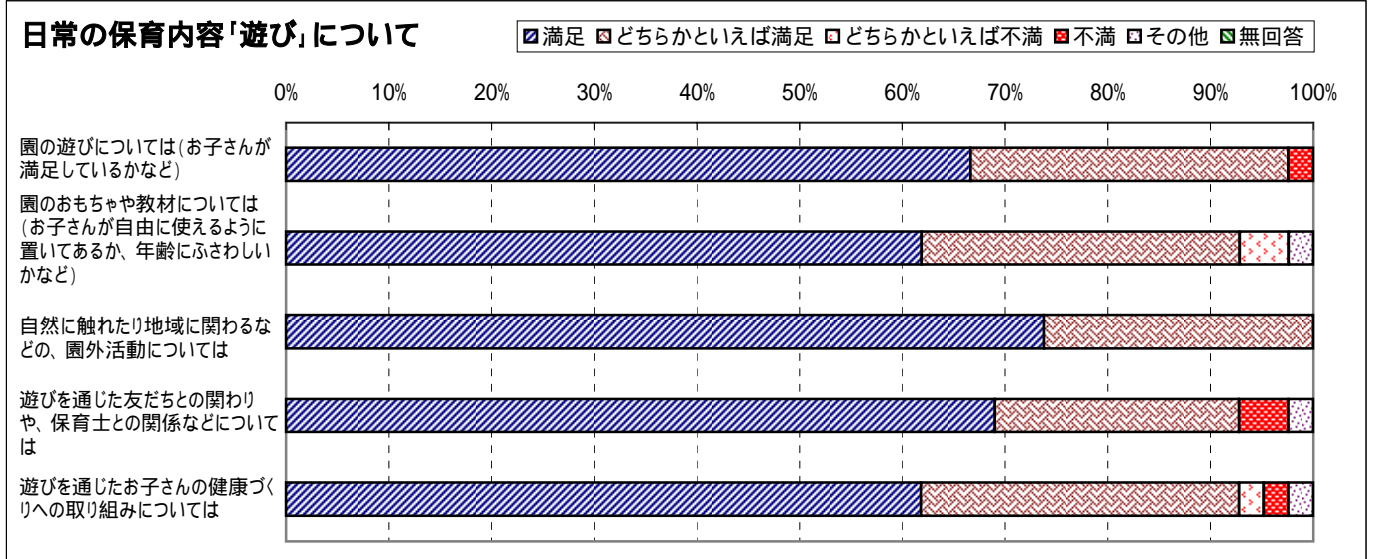
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	57.1	38.1	2.4	0.0	2.4	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	47.6	45.2	4.8	0.0	0.0	2.4	100



問4 日常の保育内容について

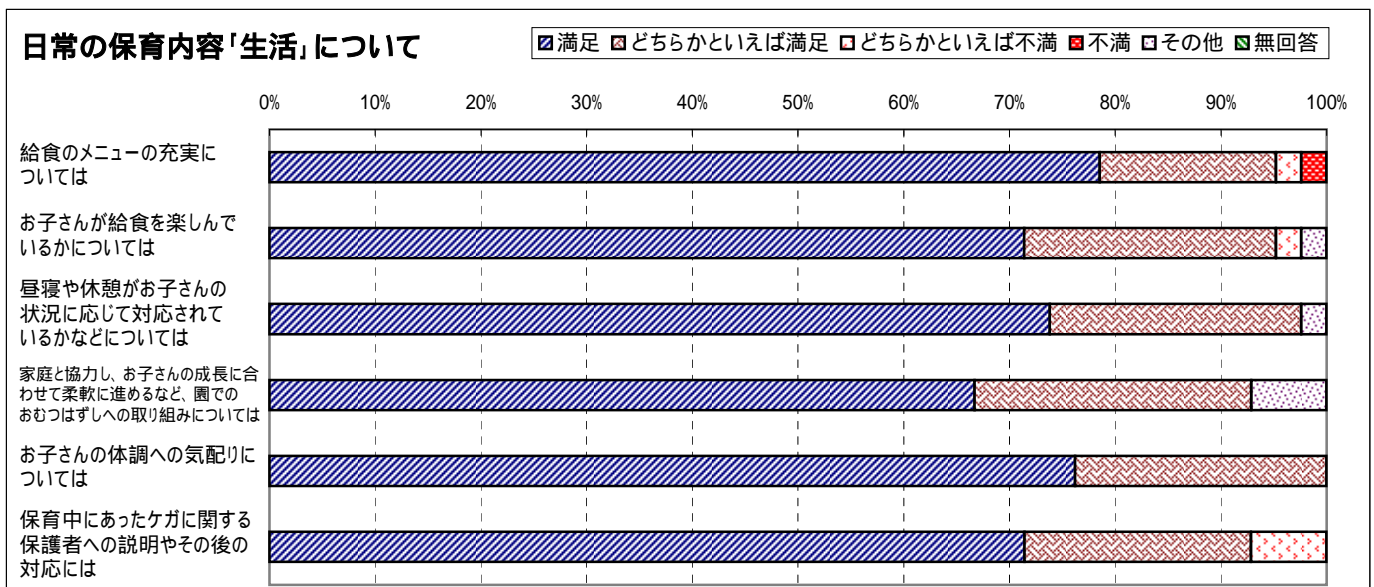
(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
	園の遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	66.7	31.0	0.0	2.4	0.0	0.0
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	61.9	31.0	4.8	0.0	2.4	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	73.8	26.2	0.0	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	69.1	23.8	0.0	4.8	2.4	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	61.9	31.0	2.4	2.4	2.4	0.0	100



(%)

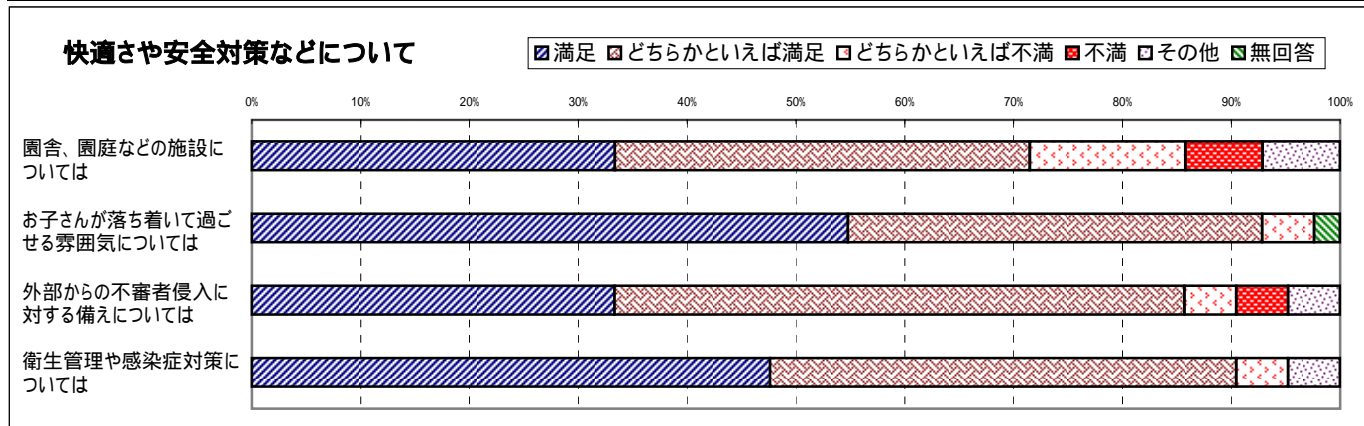
「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
	給食のメニューの充実については	78.6	16.7	2.4	2.4	0.0	0.0
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	71.4	23.8	2.4	0.0	2.4	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	73.9	23.8	0.0	0.0	2.4	0.0	100
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	66.7	26.2	0.0	0.0	7.1	0.0	100
お子さんの体調への気配りについては	76.2	23.8	0.0	0.0	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	71.4	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	100



問5 快適さや安全対策などについて

(%)

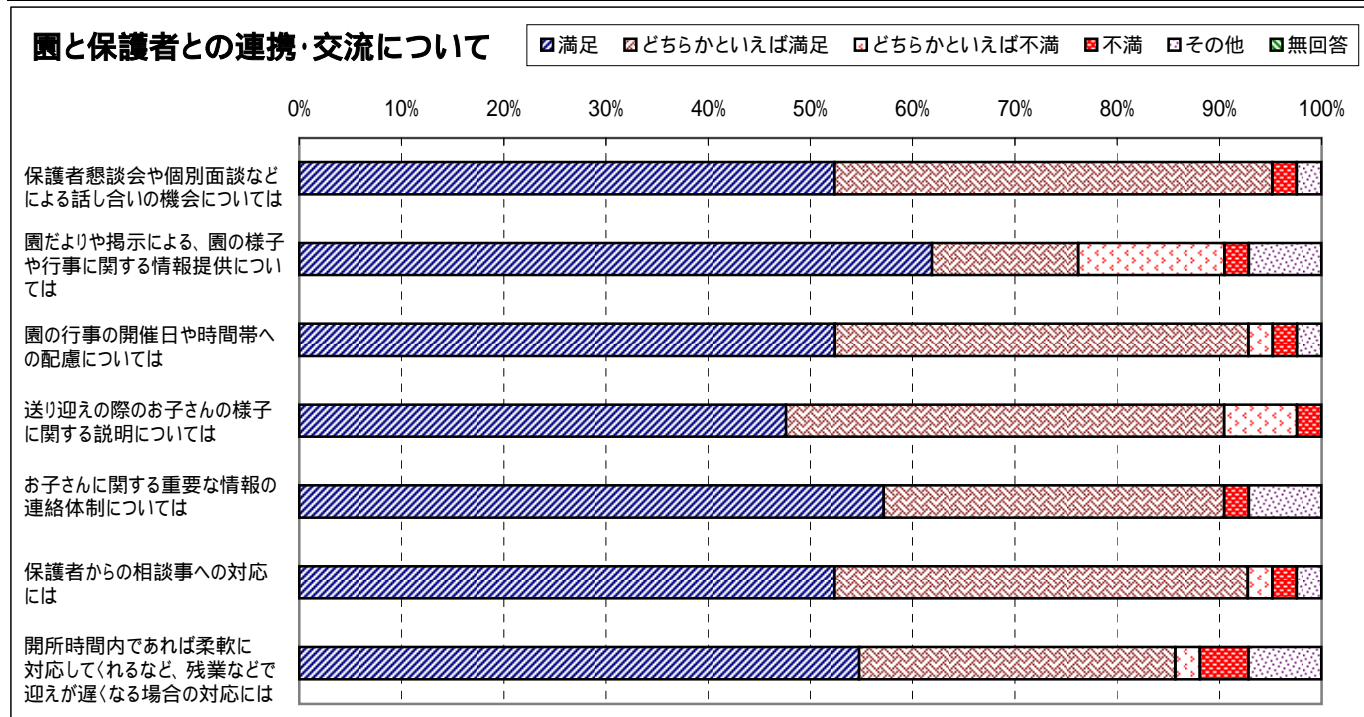
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園舎、園庭などの施設については	33.3	38.1	14.3	7.1	7.1	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	54.8	38.1	4.8	0.0	0.0	2.4	100
外部からの不審者侵入に対する備えについては	33.3	52.4	4.8	4.8	4.8	0.0	100
衛生管理や感染症対策については	47.6	42.9	4.8	0.0	4.8	0.0	100



問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

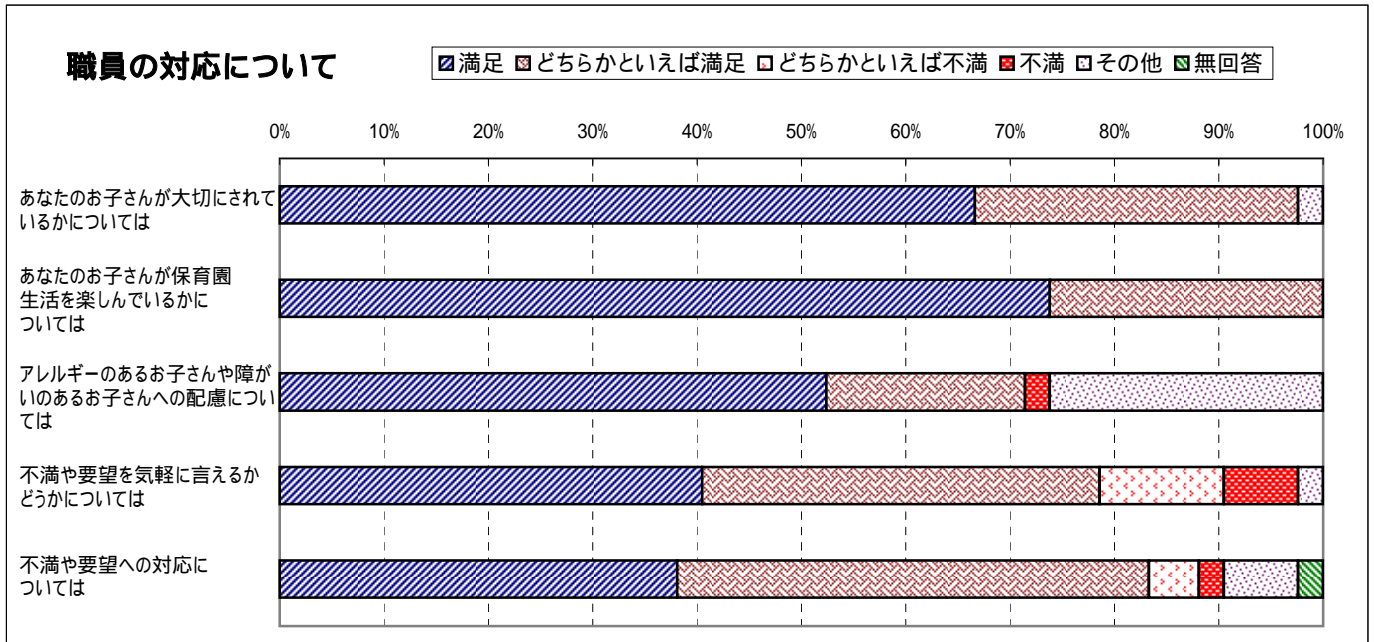
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	52.4	42.9	0.0	2.4	2.4	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	61.9	14.3	14.3	2.4	7.1	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	52.4	40.5	2.4	2.4	2.4	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	47.6	42.9	7.1	2.4	0.0	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	57.1	33.3	0.0	2.4	7.1	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	52.4	40.5	2.4	2.4	2.4	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	54.8	31.0	2.4	4.8	7.1	0.0	100



問7 職員の対応について

(%)

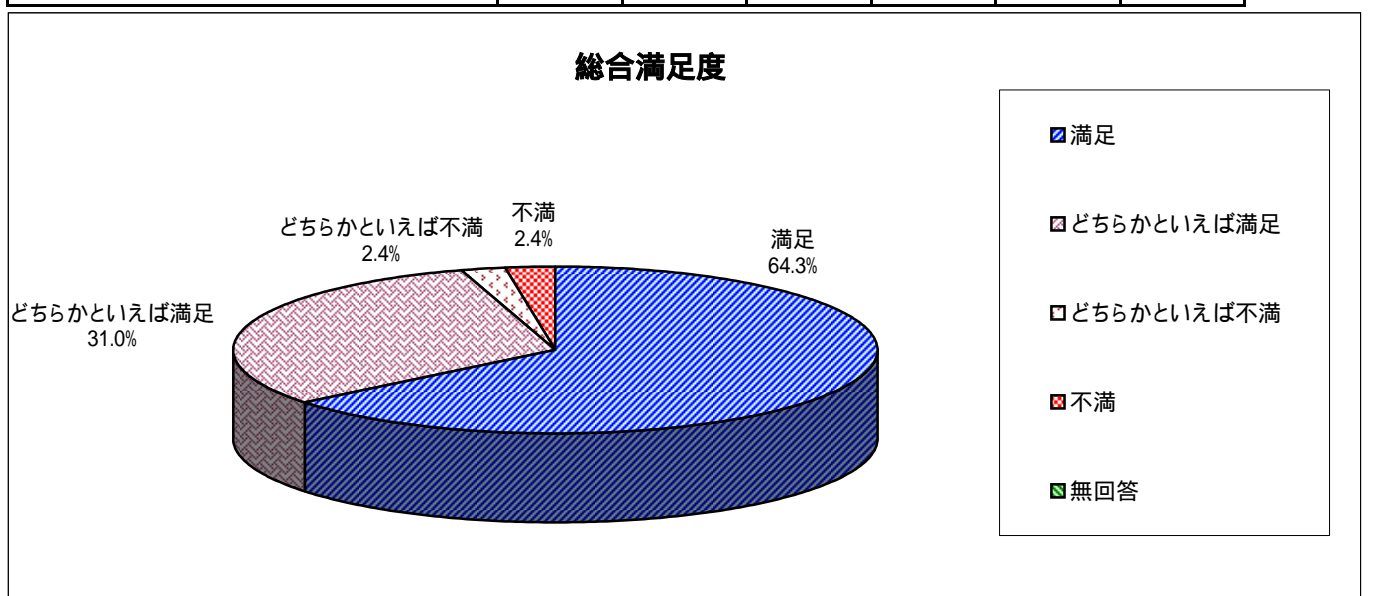
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	66.7	31.0	0.0	0.0	2.4	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	73.8	26.2	0.0	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮については	52.4	19.0	0.0	2.4	26.2	0.0	100
不満や要望を気軽に言えるかどうかについては	40.5	38.1	11.9	7.1	2.4	0.0	100
不満や要望への対応については	38.1	45.2	4.8	2.4	7.1	2.4	100



問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	64.3	31.0	2.4	2.4	0.0	100



利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 第1日：2007年3月14日(水) 第2日：3月16日(金)

観察中、5歳以上の園児を中心に適宜聞き取りを行いました。

1. 遊びについて

- ・0歳児は、目覚めている子どもは絵本をながめたり、ままごとセットをいじったりして自由に遊んでいます。間仕切りの窓から1歳児の部屋の様子をながめている子もいます。寝ている子には先生が側についてやさしく寝かしつけています。
- ・1歳児は、お散歩前に保育士から絵本を読んでもらいます。子どもたちは、壁を背にして横一列に並んで座り、保育士の読む絵本に耳を傾け、静かな時を過ごしています。散歩に行く時には、お散歩ひもの輪をそれぞれが持って並んで出かけます。公園では思い思いに好きな遊具で遊んだり、地面に絵を描いたり、ミミズ探し等を行いました。
- ・2歳児は、朝の時間、「ままごと遊び」のコーナーで、保育士に見守られながら自由に遊んでいます。その後、屋上の広場では、三輪車に乗り、車ごっこに発展しました。またビーチボールで遊ぶこともあります。散歩先の公園では、滑り台やブランコ、鬼ごっこ、かけっこなどで遊びました。
- ・3歳児は、朝の時間、お絵かきをしたり、おもちゃの携帯で遊んだり、絵本を見たりして自由に遊んでいます。朝の会では4・5歳児といっしょに過ごします。朝の会が終わると自分のクラスへ戻り、散歩に出かける準備です。どこの公園に行くかみんなで話し合って決めました。
- ・4・5歳児は、異年齢児混合クラスです。登園後「びゅんびゅんごま」や紙飛行機を作って遊んだり、ブロックで遊んだりと自由に過ごしています。途中で登園した子どもも、完成した「びゅんびゅんごま」を使った遊びで、自然に集団の輪の中へとけ込んでいます。絵を描いたり、あやとりをしたりしている子もいます。朝の会で保育士から「今日はどこの公園に行こうか」ときかれ、口々に自分の行きたいところを言い、多数決で行き先を決めました。公園ではドッジボール、どろけい、木の葉を小川に浮かべて競争して遊ぶ、花を集めてままごとをする等、自由に遊びました。

2. 食事について

- ・0、1、2歳児は、それぞれのクラスで保育士に見守られながら給食を食べています。子どもたちは、保育士から話しかけられながら、せかさることはなく、ゆったりとした中でよく食べています。
- ・3歳児は4・5歳児のクラスと一緒に給食を食べます。テーブルには、5歳児が工作で作った花瓶があり、散歩で摘んできた草花を飾っています。そして、好きな子と一緒に座ったり、グループで座ったりしています。3歳児は、4、5歳児よりも少しだけ早く食べ始めます。食事の前には当番の掛け声で「いただきます」と皆で言う前から食べます。おかわりは自由です。食べるのに時間を要する子どもも、先生の声かけで自分のペースに合わせて無理をすることなく完食しています。
- ・子どもたちに尋ねると、「給食は好き」「美味しい」と答えました。また、「嫌いなものもあるけど食べる」「どうしても嫌な時は、先生に言って少なくしてもらおう」という答えもありました。

3. 排泄について

- ・1、2歳児は、散歩前にトイレ誘導があります。子どもたちは、トイレトレーニングの一環として、トイレに座る体験をしています。また、保育士は子どもの紙パンツに布オムツを1枚挟んで、濡れたら気持ちが悪く感じることを感じさせ、速やかに濡れたオムツを取り替えています。着替えも一人でできるように、保育士は見守りながら声かけをしています。子どもの自主性を尊重し、無理強いはしていません。

- ・障がいのある子どもは、専任の保育士が見守る中でトイレを済まし、パンツ等を履く時には手伝ってもらっています。手を洗ったり、手拭きでふいたり等はできるだけ自分でするように配慮されています。

4. 清潔・健康について

- ・保育園内は、清掃が良く行き届き、清潔感があります。空調設備の温度設定及び湿度設定を保育士が調節して、各クラスの室内環境を整えています。
- ・1階（3、4、5歳児）、2階（0、1、2歳児）とも、各保育室に温度計と湿度計があり、温度・湿度の調整に配慮しています。少し乾燥気味のことありますが、加湿器を使用して湿度の調整を行っています。
- ・子どもたちは、トイレ後や外遊びから帰ってきたときは、すすんで洗面所で手を洗い、自分の手ふきで拭いています。しかし、洗面所やトイレの床が、水で濡れ易くなっています。

5. いやな思いへの対応や権利を守ることについて

- ・保育士は、子どもの要望や意見に沿った対応をしており、子どもを中心にすえた支援や声かけを心がけています。
- ・子どもたちは、いやなことについては口で言うように指導されています。

6. 職員について

- ・保育士は、子どもたちの様子をいつも目の端に留めており、危険な場合にはすぐに駆けつけられるようにと気を付けています。
- ・公園では子どもの発達に応じて、身体・運動機能を向上させるような運動を取り入れています。
- ・散歩の途中では「端っこ歩こうね」「犬が今日もいるかな」「段差があるから気を付けて」等の声かけをしながら、地域に関心を持たせるようにしています。

まとめ

園庭は狭く、園舎もゆとりがあるとはいえませんが、その中で子どもたちは楽しく園生活を送っています。「どろんことおひさまと仲良くしよう」というスローガンの下、毎日のように戸外に出かけており、地域の公園が子どもたちの遊び場として定着しています。子どもたちはそこでの遊びを堪能しています。

0歳児から5歳児まで、保育士に見守られながら自由に好きなことをして遊び込んでいますので、園に戻ってからも落ち着いている様子がうかがえます。食事中も落ち着いて楽しげに食べていますし、食後は歯磨きをし、着替えて午睡へという流れも自然にできています。また、子どもたちは年齢を問わず絵本に親しんでおり、保育士が絵本を読むときも静かに集中して聞いています。

事業者意見

認可園となり、2年目に第三者評価を受けることにしました。

第三者評価を受けるにあたり、職員全体が納得した上で取り組むことが大切だと、職員会議の中で「今までの保育の見直し」と「これからの保育を考える」ために受けるということを全員で確認しあいました。それからの、一つひとつの見直しと点検、不足部分の補充等を、職員一人ひとりが関わりながら心をひとつにしてできたことは、今回の収穫のひとつだと思います。

また、家族アンケートの回収率は保護者の関心度だと聞き、その高さがうかがわれました。総合満足度は、「満足」「どちらかといえば満足」をあわせて95.3%と高い満足度で「“大事に育ててもらっている”等の声がいくつもみられる。」という分析結果をいただき、とてもうれしく思いました。それとともに、どのように園への思いを持っているのかが見え、これからの課題が含まれている結果を今後分析し、保育に活かしていきたいと思えます。

職員からは、『やって良かったと思いますが初めてのことなので、どのように進めていったらいいのかがよくわからず、大変だった。』という意見や『記録、マニュアルの必要性を再認識することができた。』『”良いところを探す”という姿勢を学び、それによって「くっくの良さ」というものを改めて認識することができた。』『当日、クラスに入った評価調査員の方たちは感じがとても良く温かい目で見てくださったので、保育する側もとてもやりやすかった。』等の意見がありました。

市民セクターよこはまの皆様には、今回受審することにより私たちが気づかなかった点を気づかせていただき、また、良い点を評価していただき感謝しております。

保育園が、年々厳しい状況に置かれていく中で第三者評価を受け、自分たちの保育の見直しができることは本当に良かったと思えます。今後はそれを継続していくことができるよう、職員一同頑張っていきたいと思えます。

くっくおさんぽ保育園大倉山